

# 自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成23年4月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成23年4月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

## ◎調査店1店当たりの販売台数

本月の新車販売の合計は32.0台で、前年同月と比べると3.9台増の113.9%である。車種別で見ると子供車93.5%、マウンテンバイク70.0%で前年同月比を下回ったが、他の車種は上回った。前月と比べると子供車223.1%、幼児車116.7%と上回っており、春需での子供・幼児車の購入は4月になってからのようである。スポーツ車は前年同月比111.8%、前月比119.2%と上回っており引き続き好調であった。中古車は前年同月92.6%と下回っている。

## ◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、「販売は安いものが中心」(愛知)、「安物志向は強い、通学車も7～8割は安物」(佐賀)などまだ低価格を求める傾向と、「変速・オートライトを装備しているやや高価格の品が人気」(東京)、「安い自転車がほしいが一番安いのは不安、最低でも2万円くらい」(東京都)、「スポーツ車も人気のブランドを求めて来店や電話の問合せなどが多かった」(北海道)、「スポーツ車も男女とも高品質の品に興味をもつユーザーが多くなった」(東京)、「スポーツ車や電動アシスト車がまあ売れた」(東京)、「今年もスポーツ車の人気が高い」(山梨)、「スポーツ車の商談が増えていた」(滋賀)にみられるように品質を重視し高付加価値を求めるなど、購入者が二極化している。

「自転車やタイヤ、パーツの入荷にも影響がまだ残っている」(秋田)のように東日本大震災の影響は続いているが、「通勤を自転車に通える方が10%くらいは増えている」(神奈川)など自転車利用が見直されている。

### 調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗：100]

(平成23年4月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	本月		前月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	9.3	27.0	13.5	32.2	68.9	8.1	26.2	114.8
ホーム車	12.4	35.9	16.9	40.3	73.4	10.3	33.3	120.4
折りたたみ車	0.9	2.6	1.1	2.6	81.8	0.7	2.3	128.6
子供車	2.9	8.4	1.3	3.1	223.1	3.1	10.0	93.5
幼児車	0.7	2.0	0.6	1.4	116.7	0.5	1.6	140.0
マウンテンバイク	0.7	2.0	0.9	2.1	77.8	1.0	3.2	70.0
スポーツ車	3.1	9.0	2.6	6.2	119.2	2.7	8.7	114.8
電動アシスト車	1.9	5.5	2.0	4.8	95.0	1.7	5.5	111.8
合計	32.0	92.8	39.0	93.1	82.1	28.1	90.9	113.9
中古車	2.5	7.2	2.9	6.9	86.2	2.7	8.7	92.6
総合計	34.5	100.0	41.9	100.0	82.3	30.9	100.0	111.7
モーターバイク	0.6	1.7	0.7	1.7	85.7	0.6	1.9	100.0

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。